

下野コミュニティエフエム第15回放送番組審議会議事録

開催日時：2022年12月 8 日10時00分より	開催場所：下野市役所第304会議室
出席委員：猪瀬・小島・鈴木・根橋	：4名

※発言については趣旨を変えない範囲で一部を省略・要約し、順不同で記載しています。

委員全7名のうち4名の出席をもって会の成立とし、10時00分に開会した。

1. 報告事項

事業者より前回審議会以降の運営報告があった。

・Jアラートの訓練が11月に2回、2日に緊急地震速報の放送、16日に全国一斉情報訓練。支障なく完了した。

・11月17日に細谷小学校の生徒さんが見学に来られ、スタジオ放送風景や事務所の見学、質疑応答を行った。当社放送事業や地域の情報発信についてご理解いただけたかと思う。

・11月27日、グリムの森でのイルミネーション点灯式に合わせて特別放送を実施した。ゲストを迎え来場客にインタビューをし、現地でも多くの人に見ていただけたかと思う。
(ケーブルビジョン株式会社ラジオ事業部放送局長)

2. 審議事項

■議題①…番組内容について

事前に送付した資料(記録物)を各委員が聴取し、それに対して委員が意見を述べた。
※2022年11月11日放送「アフタヌーンプラザ」

- ・山内委員長が欠席につき、委員の互選により臨時の議長を選出し、鈴木委員とした。

議長：

この番組についてご意見を。

小島委員：

トークのテンポが良く聴きやすく、日替わりコーナーでの絵本や1980年代の音楽など、年配の方や私ら団塊の世代に合う内容だった。

ただ、高校生番組の紹介は違和感があった。この時間帯に高校生は聴いていないのでは。事業者：

音楽に関しては古めの曲を中心に選んでいるが、20代30代の若めのリスナーもいるのでバランスを考えている。

高校生番組の紹介だが、この枠はマガジンの掲載記事の中からランダムに選んでおり、高校生の親御さん世代に対してもアピールをしているためこの時間帯にも紹介している。親御さんが高校生のお子さんに参加を薦めたという事例も実際にある。

鈴木委員：

チェックマガジンではマガジンの情報を紹介していたが、加盟店レポートとはなにか。事業者：

加盟店レポートとは、各加盟店に当社のパーソナリティがリポーターとして店舗等に伺い、生放送で店舗や商品の紹介をする企画で、加盟店の特典の一つになっている。

レポートが必ずある訳ではないので、レポートのない場合にはチェックマガジンとしてマガジンの掲載記事から加盟店を紹介している。

根橋委員：

トレンドマイタウンでは市内公共施設、チェックマガジンで加盟店の紹介をしていたが、これはランダムに選んでいるのか、それともパーソナリティが適宜自分で選んでいるのか。チェックマガジンなら、有料であるので回数が不平等になり不都合は生じないのか。事業者：

トレンドマイタウンは指定した情報からパーソナリティが選択する。

チェックマガジンも、現行の号からパーソナリティが季節や紹介の頻度等を勘案して、ランダムに選んでいる。チェックマガジンはあくまでマガジン全体から記事を紹介するという趣旨であるので、加盟店はもちろん紙面広告や放送協力、その他特集記事や告知まで、掲載されているものであれば問わない。ご指摘があったような回数の不平等に関しては、あくまでサービスであり当方に一任ということで各顧客に説明しご理解をいただいている。ただパーソナリティに任せていると著しい回数差が出てしまうので、そこは社員の枠で調整する場合もある。

根橋委員：

この番組は以前は各曜日で別々のパーソナリティが担当していたが、番組表によると、現在は月曜から木曜まで同じで金曜だけ違う。これは10月の番組改編で変わったのか。事業者：

パーソナリティの配置は半年毎に見直しており、諸々の事情でそのようになっている。曜日や時間帯でずっと固定という訳ではない。

当社のパーソナリティはあくまで市民であり本職ではないのでそれぞれに都合もある。

猪瀬委員：

パーソナリティも子育てをしているようで、トークもママ友同士の会話のような印象。

番組の冒頭でこの日のテーマの紹介があったが、「名前」にまつわるエピソードの中で、絵本2作品について言及があり、終わりの紹介では2つの作品の題名を混同して紹介してしまったようだった。聴く限り訂正はなかったようだが、最終的に訂正されたのだろうか。
事業者：

その箇所については未確認だが、もし誤りがあったのであれば気付いた時点で速やかに訂正しなければならない。気付かなかったのかも知れないが、生放送でパーソナリティが一人で担当しているので誤りが多少生じるのは仕方がないにしても、指導を徹底したい。

根橋委員：

同じ箇所、絵本の1冊目は著者と絵作家の名前を紹介していたが、2冊目は絵作家の紹介がなかった。聴取者にとっては不平等では。

事業者：

理由は本人に確認してみないと判らないが、紹介し忘れたのか、掲載がなかったのか。絵の作者も掲載されていたとしたら正しく紹介すべきところであり、これも指導したい。
※事業者にて確認したところ、文・絵とも同一人物の作となっていた。

鈴木委員：

パーソナリティの進行がゆったりと聴きやすかった。声も明るく、ベテランの雰囲気。テーマについても話題や選曲は大変だろうと感心した。

しかし、このトークの中で「下野駅」と2回ほど言っていた。自治医大駅ではないのか。「下野駅前の〇〇」と言っており、普通なら出てこない言い方で、気になった。

事業者：

これについてはこの放送の終了後に嚴重注意をしている。地域情報を発信する局として、あってはならない誤りである。

鈴木委員：

ある加盟店で所在地が宇都宮市内なのに「下野店」と紹介していた。正しいのか。

事業者：

市外に所在していても「下野」を冠している場合もある。顧客の指示に基づいている。

■議題②…その他の事項について

- ・公共施設の行事の案内について意見があった。
- ・高校生制作番組のスタッフ募集について質問と意見があった。
- ・番組制作について質問があった。
- ・番組の対象聴取者年齢層と聴取率調査について質問と意見があった。
- ・審議委員の選出について意見があった。
- ・地元行政や医療機関との連携について意見があった。

3. その他

事務局：

今回は2月9日(木)の開催でいかがか。改めて通知させていただく。

以上、11時00分に閉会した。